

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	8-	7
事業名	ふれあいセンター経費	
会計	款	項
一般	3	1
目		3
施策	2	人にやさしいまち
	2-2	支えあいを実感できるまちをつくる
	2-2-1	地域福祉の推進
主要施策	②社会福祉協議会、関係団体等の活動支援	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域福祉を推進する拠点施設であるふれあいセンターの適切な維持管理を行ない、町民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図る。
事業内容	ふれあいセンター事業・・・地域に密着した各種福祉活動の拠点として、町の地域福祉の推進を図るため、施設の保守点検及び維持管理を行い、安心して利用できるよう長寿命化を推進していく。また、財政状況を考慮しながら、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、計画的な改修を進め、施設の長寿命化を図る。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）	
	1	施設利用者延べ人数	30,111	16,891	15,048	人	↑	20,000	
2									
3									
4									
5									
			平成29年度（決算）		平成30年度（決算）		平成31年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					20,139	14,058	14,379		
財源内訳	直接事業費A				20,139	12,738	13,059		
	うち一般財源				12,492	4,968	5,329		
人件費（千円）B					0	1,320	1,320		
内訳	一般職員（人・千円）				0	0.2	1320	0.2	1320
	臨時職員（人・千円）				0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画	—	③取組の課題	平成元年の建設から30年が経過し、施設が老朽化していることから、改修に多大な費用が必要である。
②H30年度に実施した取り組み	経常的な維持管理を行いました。	④今後の改善計画	個別施設計画を策定し、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。また、浴室の廃止に伴う跡地利用についても検討していく。現在、会議室等の施設使用料は無料のため、他施設との公平性から、使用料の減免廃止とともに検討していく。